

平成24年県民意識調査結果報告書  
【概要版】

平成25年3月  
宮 城 県

## 目次

---

I 調査の概要	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の実施状況	1
3 調査結果の見方	2
II 調査結果	3
1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について	3
2 宮城県震災復興計画について	4
(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	4
(2) 分野2 保健・医療・福祉	6
(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用	8
(4) 分野4 農業・林業・水産業	10
(5) 分野5 公共土木施設	12
(6) 分野6 教育	14
(7) 分野7 防災・安全・安心	16
3 宮城の将来ビジョンにおける3つの政策推進の基本方向について	18
(1) 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～	18
(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり	19
(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり	20
III 参考資料	21
1 回答者属性一覧	21
2 宮城県の復旧・復興の進捗状況(「高実感群」,「低実感群」,「分からない」の概要)	22
3 宮城県震災復興計画(各取組の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要)	24

# I 調査の概要

## 1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条第 1 項及び第 2 項の規定により実施するもので、「宮城県震災復興計画」の体系に基づく 7 分野 24 の取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また特にどのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や企画立案などに活用します。

## 2 調査の実施状況

### ①調査対象

宮城県に居住する 20 歳以上の男女 4,000 人（選挙人名簿から無作為抽出）

### ②調査方法

郵送方式

### ③調査期間

平成 24 年 12 月 8 日（土）から平成 24 年 12 月 28 日（金）まで

### ④調査項目

- 「宮城県震災復興計画」の体系に基づく 7 分野 24 の取組に関する認知度、関心度、重視度、満足度及び各分野において今後優先すべきと思う施策に関する項目
- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する項目
- 「宮城の将来ビジョンにおける 3 つの政策推進の基本方向」に関する項目
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目

### ⑤回収結果

- 回収数 2,030 通
- 回収率 50.75%

### 3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○この調査で用いている用語は、次の通りです。

- ・高重視群割合とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・低重視群割合とは、重視度に関する設問で、「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・満足群割合とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・不満群割合とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。
- ・高実感群割合とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「進んでいると感じる」、「やや進んでいると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・低実感群割合とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「やや遅れていると感じる」、「遅れていると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・沿岸部とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町の15市町です。
- ・内陸部とは、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の20市町村です。
- ・仙南圏域とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・仙台圏域とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村の14市町村です。
- ・大崎圏域とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・栗原圏域とは、栗原市の1市です。
- ・登米圏域とは、登米市の1市です。
- ・石巻圏域とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・気仙沼・本吉圏域とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。

## II 調査結果

### 1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

宮城県の復旧・復興の進捗状況について、全般的な進捗状況1項目と、「宮城県震災復興計画」に定める被災者の生活支援等の緊急重点事項11項目の計12項目について調査したところ、次のような結果となりました。

項 目	
1 全般的な復旧・復興について	7 保健・医療・福祉の確保について
2 被災者の生活支援について	8 雇用・生活資金の確保について
3 公共土木施設とライフラインの早期復旧について	9 農林水産業の初期復興について
4 被災市町村の行政機能の回復について	10 商工業の復興について
5 災害廃棄物の処理について	11 安全・安心な地域社会の再構築について
6 教育環境の確保について	12 原子力災害等への対応について

#### 調査結果の概要

##### 【全般的な進捗状況（項目1）】

○県全体で、全般的な復旧・復興について、「進んでいる」又は「やや進んでいる」と回答している「高実感群割合」は、25.0%となっています。

##### 【緊急重点事項（項目2～項目12）】

○県全体で、「高実感群割合」が最も高かったのは、「項目3（31.1%）」で、次いで「項目7（29.5%）」、「項目4（28.8%）」の順となっています。

○「高実感群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「項目3」が最も高くなっているのに対し、沿岸部、石巻圏域、気仙沼・本吉圏域では「項目5」が、女性、65歳以上では「項目7」が最も高くなっています。

図 1 復旧・復興の進捗状況の実感に関する割合（県全体）

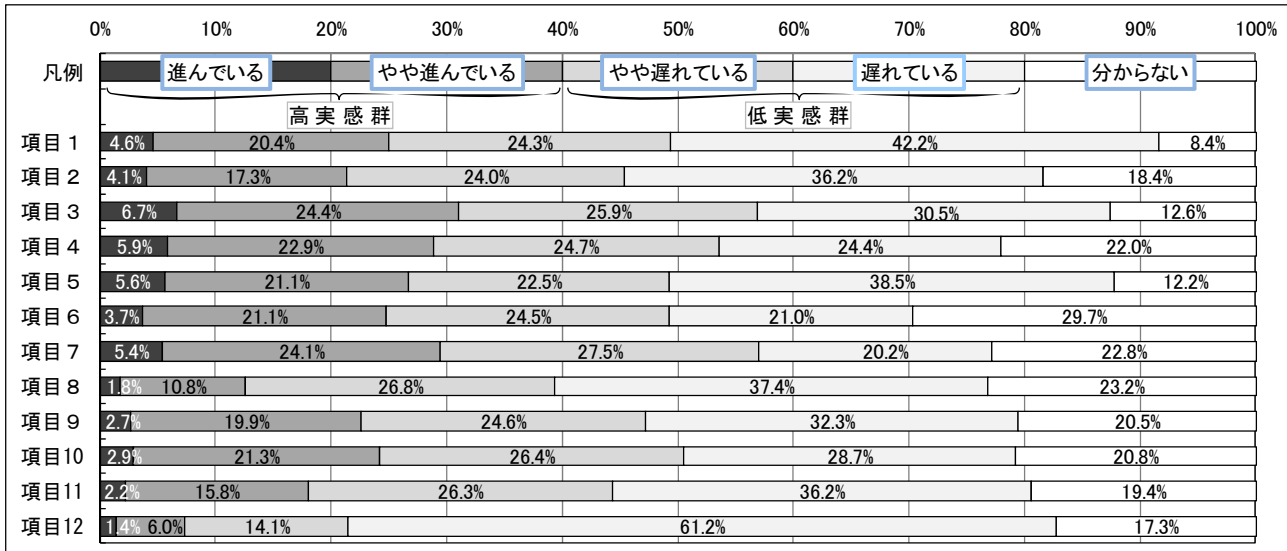


表 1 高実感群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
項目1	25.0%	26.1%	23.9%	25.0%	24.8%	22.1%	27.1%	30.7%	29.0%	23.6%	24.8%	26.7%	28.0%	12.0%
項目2	21.4%	20.9%	21.8%	21.1%	22.1%	21.8%	21.2%	23.5%	22.3%	16.1%	20.8%	24.5%	27.0%	15.9%
項目3	31.1%	31.7%	30.4%	32.5%	26.8%	26.4%	34.3%	39.2%	32.6%	28.3%	34.0%	37.1%	29.6%	16.7%
項目4	28.8%	30.8%	26.7%	28.7%	28.8%	27.5%	29.9%	33.6%	27.4%	28.2%	28.1%	30.4%	36.4%	18.5%
項目5	26.7%	27.6%	25.7%	25.9%	28.9%	33.4%	22.0%	20.9%	28.4%	18.7%	17.2%	31.2%	41.0%	30.2%
項目6	24.8%	25.3%	24.4%	24.0%	27.2%	20.8%	27.8%	28.8%	26.0%	23.7%	29.3%	28.0%	20.8%	17.6%
項目7	29.5%	28.6%	30.5%	28.3%	33.2%	29.0%	30.1%	36.2%	28.3%	26.9%	29.1%	27.1%	34.2%	26.1%
項目8	12.6%	13.0%	12.3%	12.5%	13.0%	14.9%	11.1%	12.3%	11.2%	5.7%	13.3%	13.4%	21.7%	11.2%
項目9	22.6%	22.7%	22.4%	21.4%	25.8%	22.1%	22.9%	23.9%	21.8%	23.6%	21.2%	21.7%	24.0%	22.0%
項目10	24.2%	23.7%	24.6%	25.4%	20.6%	22.3%	25.5%	29.7%	24.4%	22.4%	21.3%	27.6%	26.2%	18.3%
項目11	18.0%	17.1%	18.9%	17.6%	19.2%	14.1%	20.9%	23.3%	18.1%	17.5%	17.4%	24.4%	17.9%	8.3%
項目12	7.4%	8.8%	6.1%	7.6%	6.6%	6.4%	8.1%	8.5%	6.2%	7.1%	7.7%	9.4%	9.2%	3.6%

## 2 宮城県震災復興計画について

「宮城県震災復興計画」の体系に基づく7つの分野ごとに「重視度」、「満足度」及び「特に優先すべきと思う施策」を調査したところ、次のような結果となりました。

### (1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物

取組	施策
1 被災者の生活環境の確保	1 被災者の生活支援 2 被災者の住宅確保 3 安全な住環境の確保 4 地域コミュニティの再構築
2 廃棄物の適正処理	5 災害廃棄物の適正処理
3 持続可能な社会と環境保全の実現	6 再生可能エネルギーの導入促進 7 自然環境・生活環境の保全

#### 調査結果の概要

##### 【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組2（86.7%）」で、次いで「取組1（85.0%）」、「取組3（71.1%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組2」が最も高くなっているのに対し、仙南圏域では「取組1」が最も高くなっています。

##### 【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（52.7%）」で、次いで「取組1（45.0%）」、「取組3（41.0%）」の順となっています。
- 属性別で、「満足群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組2」となっています。

##### 【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策2（18.7%）」で、次いで「施策1（18.3%）」、「施策5（16.8%）」の順となっています。
- 「特に優先すべきと思う施策」の割合について、地域別に県全体との差異を見てみると、県全体では「施策2」が最も高くなっているのに対し、内陸部では「施策1」が最も高くなっています。

図2 重視度割合（県全体）

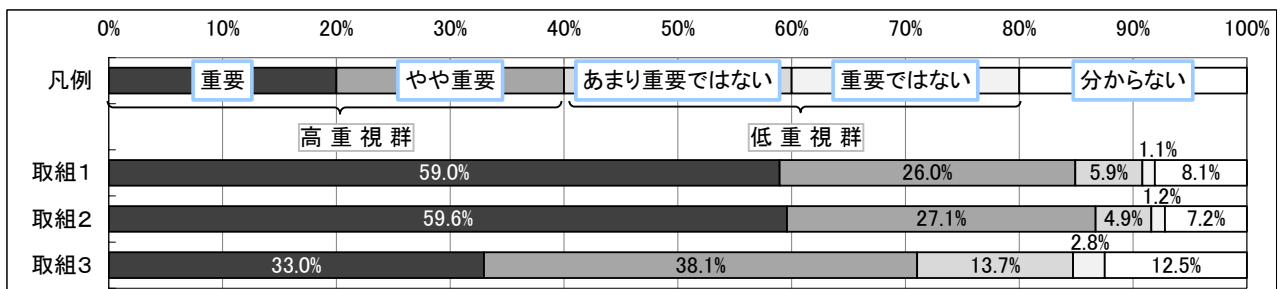


表2 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	85.0%	85.9%	84.0%	84.9%	85.5%	85.5%	84.6%	89.2%	85.7%	83.4%	81.5%	84.0%	84.1%	87.5%
取組2	86.7%	88.1%	85.0%	86.4%	87.4%	88.8%	85.1%	88.7%	88.4%	85.5%	81.7%	84.4%	89.0%	89.0%
取組3	71.1%	73.4%	68.8%	70.7%	72.4%	67.7%	73.4%	79.4%	69.6%	69.1%	76.1%	70.0%	65.4%	67.8%

図 3 満足度割合 (県全体)

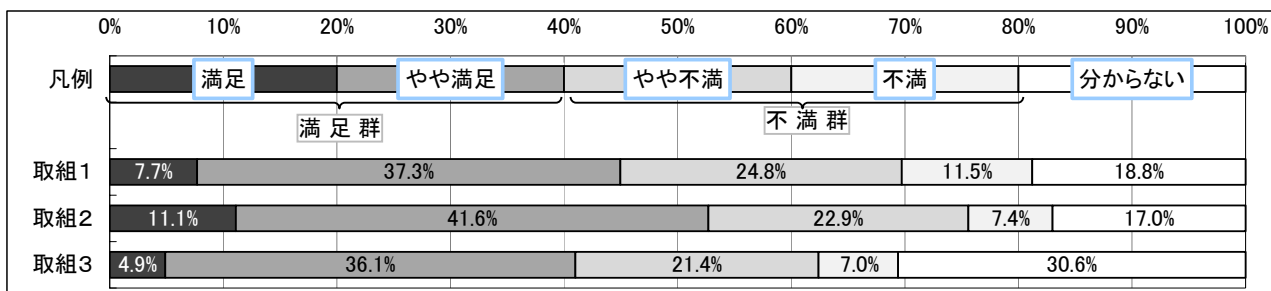
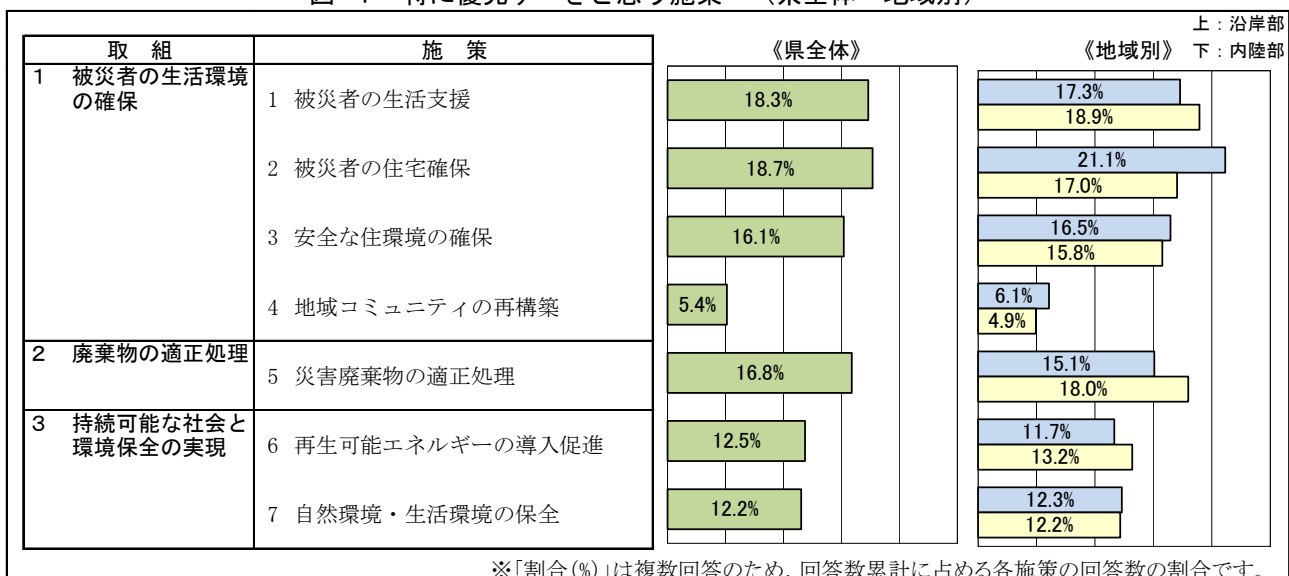


表 3 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	45.0%	46.6%	43.2%	42.2%	53.3%	43.8%	45.7%	45.3%	43.2%	39.1%	47.6%	51.2%	48.5%	39.2%
取組2	52.7%	53.4%	51.8%	50.6%	59.0%	53.8%	51.9%	55.9%	52.1%	45.4%	52.3%	53.8%	56.0%	53.5%
取組3	41.0%	42.4%	39.5%	38.2%	49.7%	37.4%	43.4%	44.4%	37.7%	38.8%	50.2%	41.3%	37.3%	36.4%

図 4 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。

(2) 分野2 保健・医療・福祉

取組	施策
1 安心できる地域医療の確保	1 被災者の健康支援 2 ハード・ソフト両面の医療提供体制の整備 3 保健・医療・福祉連携の推進
2 未来を担う子どもたちへの支援	4 被災した子どもと親への支援 5 児童福祉施設等の整備 6 地域全体での子ども・子育て支援
3 だれもが住みよい地域社会の構築	7 県民の心のケア 8 社会福祉施設等の整備 9 支え合い地域社会の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組2（87.7%）」で、次いで「取組1（84.7%）」、「取組3（80.3%）」の順となっています。
- 属性別で、「高重視群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組2」となっています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（51.5%）」で、次いで「取組1（50.5%）」、「取組3（47.1%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組2」が最も高くなっているのに対し、仙台圏域、大崎圏域では「取組1」が、仙南圏域では「取組3」が最も高くなっています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策4（15.8%）」で、次いで「施策3（15.0%）」、「施策1（13.2%）」の順となっています。
- 地域別で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、沿岸部、内陸部とも県全体と同様に「施策4」となっています。

図 5 重視度割合（県全体）

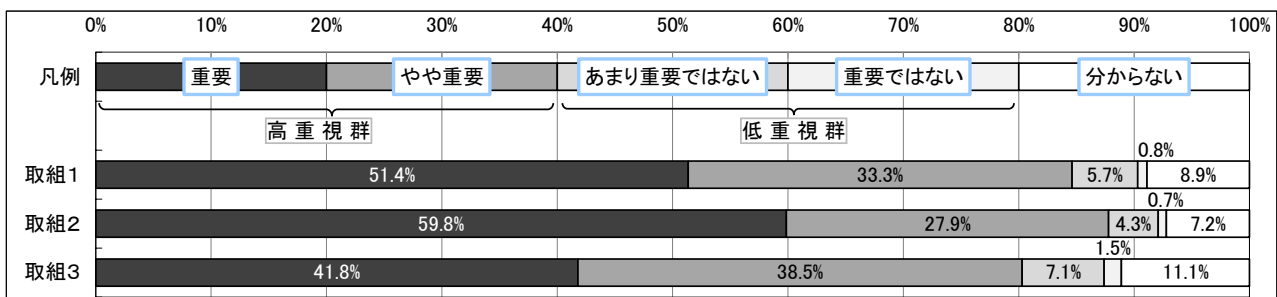


表 4 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	84.7%	84.9%	84.2%	84.7%	84.2%	84.3%	84.8%	87.7%	84.0%	80.8%	85.3%	85.7%	82.5%	86.4%
取組2	87.7%	87.6%	87.7%	87.6%	88.2%	88.1%	87.4%	91.7%	88.9%	82.6%	87.1%	88.5%	87.0%	88.4%
取組3	80.3%	78.7%	81.6%	78.9%	84.3%	80.1%	80.2%	83.9%	76.7%	79.3%	80.7%	78.5%	78.8%	83.8%



図 6 満足度割合 (県全体)

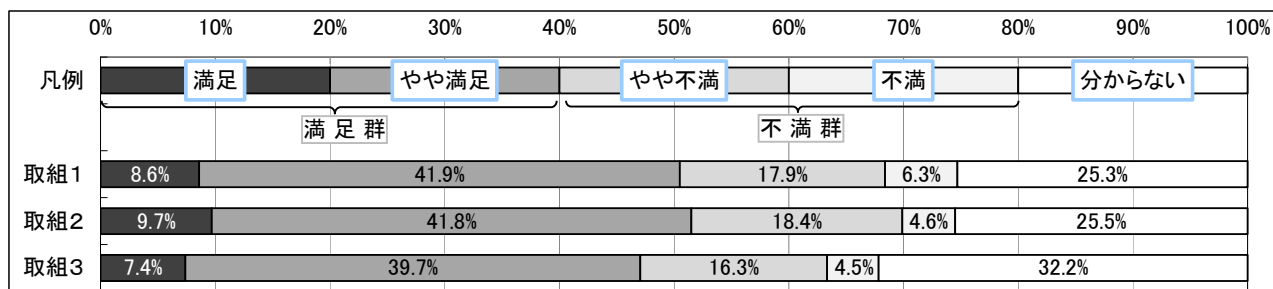
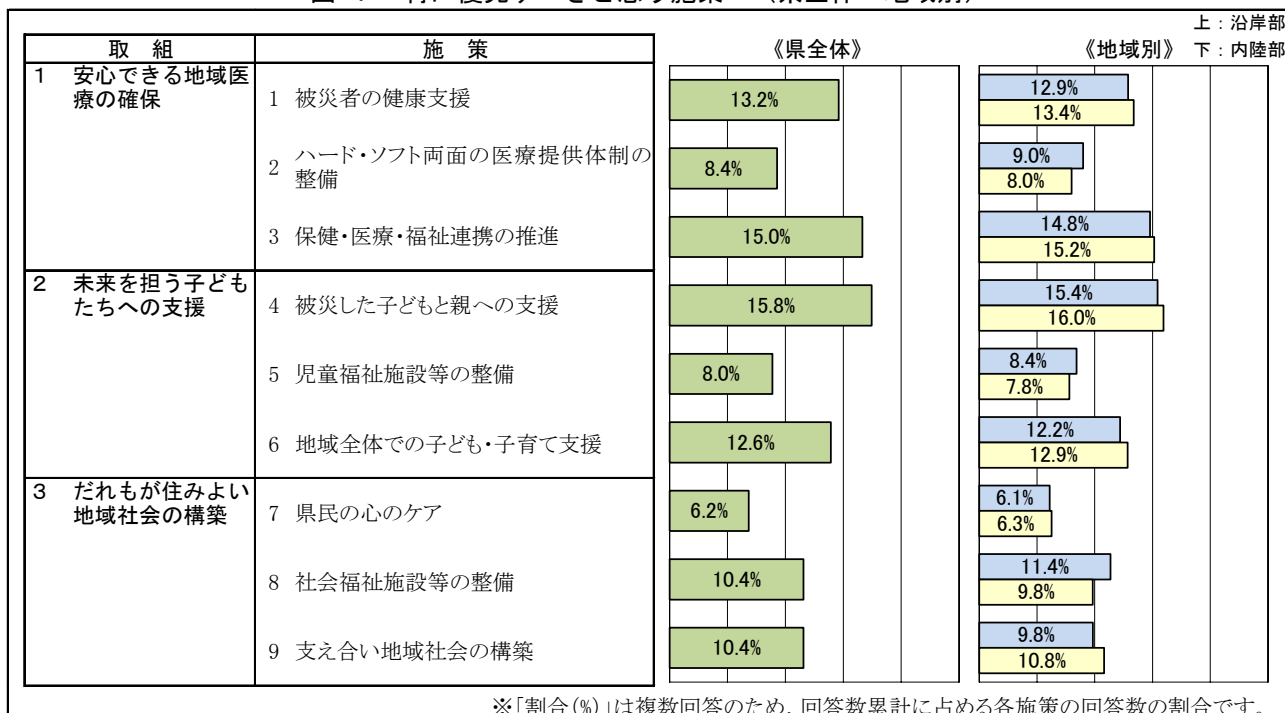


表 5 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	50.5%	48.2%	52.7%	47.5%	59.7%	50.8%	50.3%	49.6%	49.7%	48.5%	54.3%	48.4%	51.5%	51.3%
取組2	51.5%	49.3%	53.7%	48.5%	60.9%	51.8%	51.4%	50.0%	47.9%	47.6%	55.8%	51.9%	54.9%	52.7%
取組3	47.1%	45.5%	48.6%	44.1%	56.2%	44.7%	48.8%	50.4%	38.7%	44.0%	54.3%	47.3%	47.4%	47.9%

図 7 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。

(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用

取組	施策
1 ものづくり産業の復興	1 早期の事業再開に向けた工場・設備等の復旧・整備支援 2 経営安定等に向けた融資制度の充実 3 生産活動の再開・向上に向けた支援 4 販路開拓・取引拡大等に向けた支援 5 更なる企業誘致の展開と新たな産業集積の促進
2 商業・観光の再生	6 早期の事業再開に向けた商店・商店街の復旧・整備支援 7 経営安定等に向けた融資制度の充実 8 商工会，商工会議所等の回復・強化支援 9 先進的な商業の確立に向けた支援 10 I T企業等の支援・活用 11 国内外からの観光客の誘致 12 観光資源・観光ルートの整備，域内流動の促進 13 「観光王国みやぎ」実現のための態勢整備
3 雇用の維持・確保	14 緊急的な雇用の維持・確保と生活支援 15 被災者等や新規学卒者の就職支援 16 新たな雇用の場の創出 17 復興に向けた産業人材育成

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3（82.8%）」で、次いで「取組1（76.1%）」、「取組2（69.3%）」の順となっています。

○属性別で、「高重視群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組3」となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（40.2%）」で、次いで「取組3（35.2%）」、「取組1（34.8%）」の順となっています。

○属性別で、「満足群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組2」となっています。

【特に優先すべきと思う施策】

○県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策1（12.0%）」で、次いで「施策16（10.4%）」、「施策6及び15（9.5%）」の順となっています。

○地域別で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、沿岸部，内陸部とも県全体と同様に「施策1」となっています。

図 8 重視度割合（県全体）

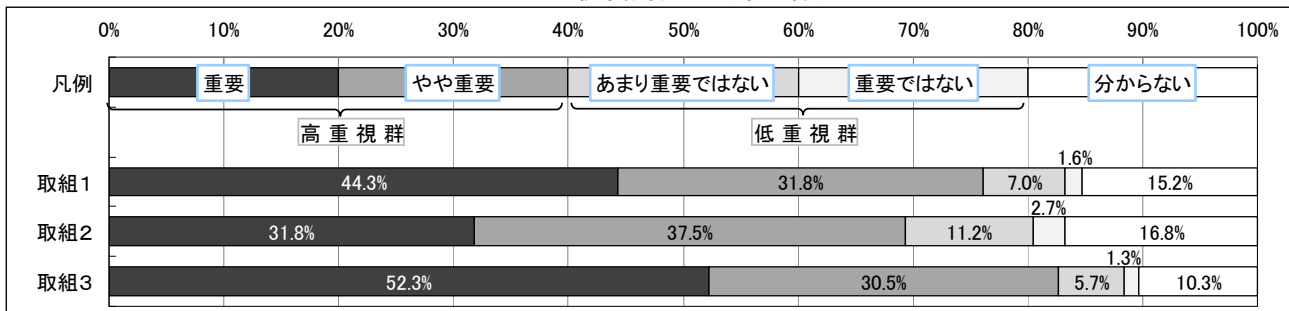


表 6 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	76.1%	78.6%	73.5%	77.0%	73.3%	74.5%	77.2%	83.0%	75.2%	71.8%	78.2%	76.3%	72.4%	75.7%
取組2	69.3%	70.4%	68.0%	69.4%	68.6%	68.4%	69.7%	71.7%	70.4%	63.0%	75.7%	68.0%	64.5%	70.8%
取組3	82.8%	83.1%	82.4%	83.4%	80.7%	83.6%	82.0%	85.3%	83.9%	77.6%	83.6%	82.2%	83.1%	82.9%

図 9 満足度割合 (県全体)

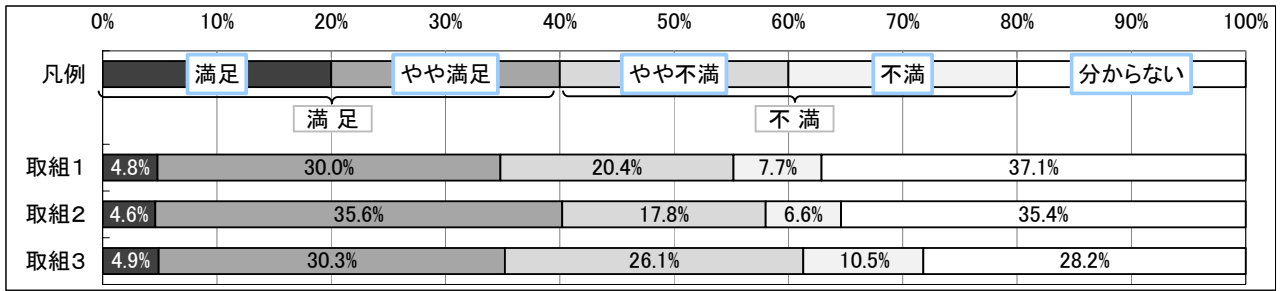
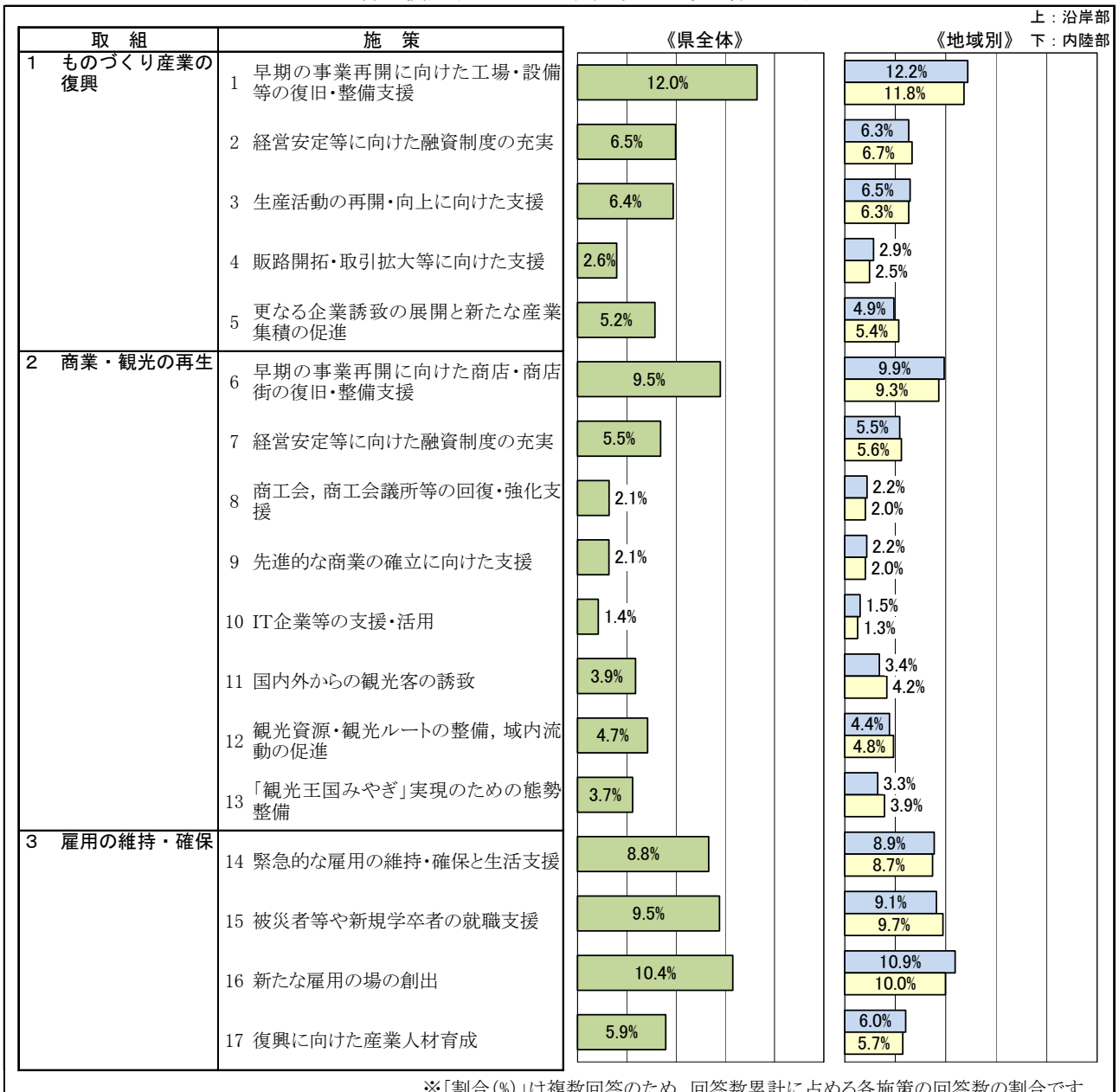


表 7 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	34.8%	36.6%	32.9%	32.4%	41.9%	32.0%	36.7%	37.3%	31.2%	32.7%	42.4%	34.5%	32.3%	32.7%
取組2	40.2%	40.8%	39.4%	38.1%	46.1%	37.0%	42.3%	40.6%	36.0%	37.9%	48.1%	42.1%	37.3%	38.7%
取組3	35.2%	34.5%	35.5%	32.7%	42.1%	34.2%	35.4%	34.9%	32.4%	30.6%	42.0%	33.0%	36.3%	35.0%

図 10 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため, 回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。

(4) 分野4 農業・林業・水産業

取組	施策
1 魅力ある農業・農村の再興	1 生産基盤の早期復旧 2 早期営農再開に向けた支援 3 農業・農村復興プランの策定及び生産体制の整備に係る支援 4 収益性の高い農業経営の実現 5 活力ある農業・農村の復興
2 活力ある林業の再生	6 復興に向けた木材供給の確保・産業の維持 7 被災住宅・拠点施設復旧に向けた支援 8 海岸防災林等の早期復旧及び木質バイオマスの有効活用促進
3 新たな水産業の創造	9 水産業の早期再開に向けた取組 10 漁業経営基盤・生産基盤の再建支援 11 水産業集積拠点の再構築及び沿岸漁業拠点の集約再編 12 新たな経営方式の導入による経営体質強化、後継者確保、漁業の総合産業化等
4 一次産業を牽引する食産業の振興	13 食品製造関連施設の早期復旧及び事業再開支援 14 情報発信の強化による販路の拡大 15 食材王国みやぎの再構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3 (79.5%)」で、次いで「取組1 (78.5%)」、「取組4 (77.8%)」、「取組2 (64.2%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組3」が最も高くなっているのに対し、内陸部、仙南圏域、仙台圏域、栗原圏域、登米圏域では「取組1」が、大崎圏域では「取組4」が最も高くなっています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3 (41.0%)」で、次いで「取組4 (40.0%)」、「取組1 (35.5%)」、「取組2 (32.0%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組3」が最も高くなっているのに対し、女性、65歳未満、沿岸部、仙台圏域、栗原圏域、気仙沼・本吉圏域では「取組4」が最も高くなっています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策1 (9.9%)」で、次いで「施策13 (9.7%)」、「施策9 (9.3%)」の順となっています。
- 「特に優先すべきと思う施策」の割合について、地域別に県全体との差異を見てみると、県全体では「施策1」が最も高くなっているのに対し、内陸部では「施策13」が最も高くなっています。

図 11 重視度割合 (県全体)

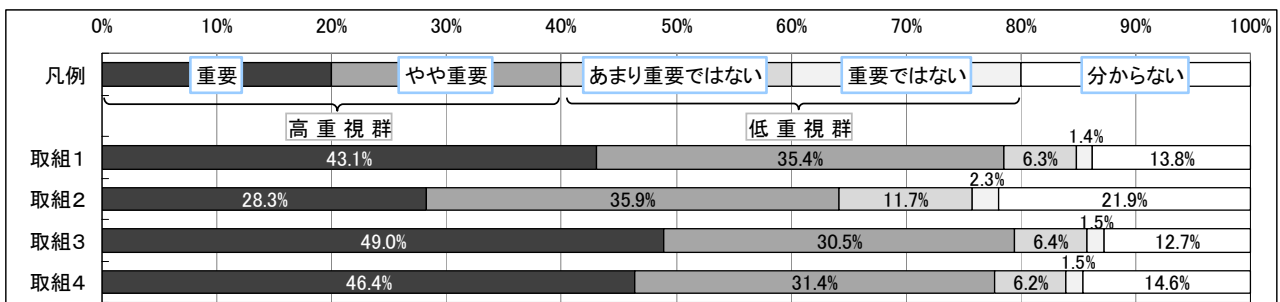


表 8 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	78.5%	80.0%	76.8%	78.2%	79.0%	76.1%	80.0%	83.7%	80.8%	77.5%	79.5%	79.0%	76.3%	71.8%
取組2	64.2%	65.2%	62.9%	62.4%	68.6%	62.1%	65.5%	68.3%	63.6%	63.5%	67.1%	62.1%	60.6%	63.4%
取組3	79.5%	81.5%	77.2%	78.5%	82.1%	82.3%	77.3%	81.3%	80.4%	75.2%	77.9%	75.2%	81.8%	84.3%
取組4	77.8%	79.2%	76.3%	78.4%	75.9%	76.5%	78.6%	82.1%	79.0%	77.7%	77.4%	78.2%	73.8%	76.2%

図 12 満足度割合 (県全体)

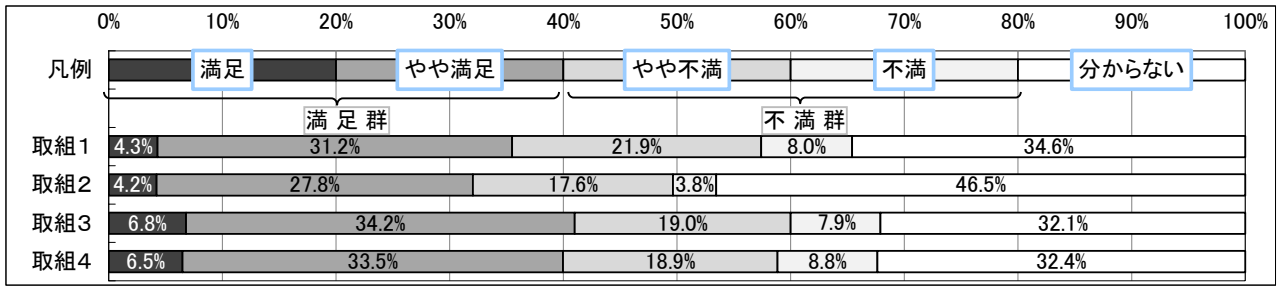
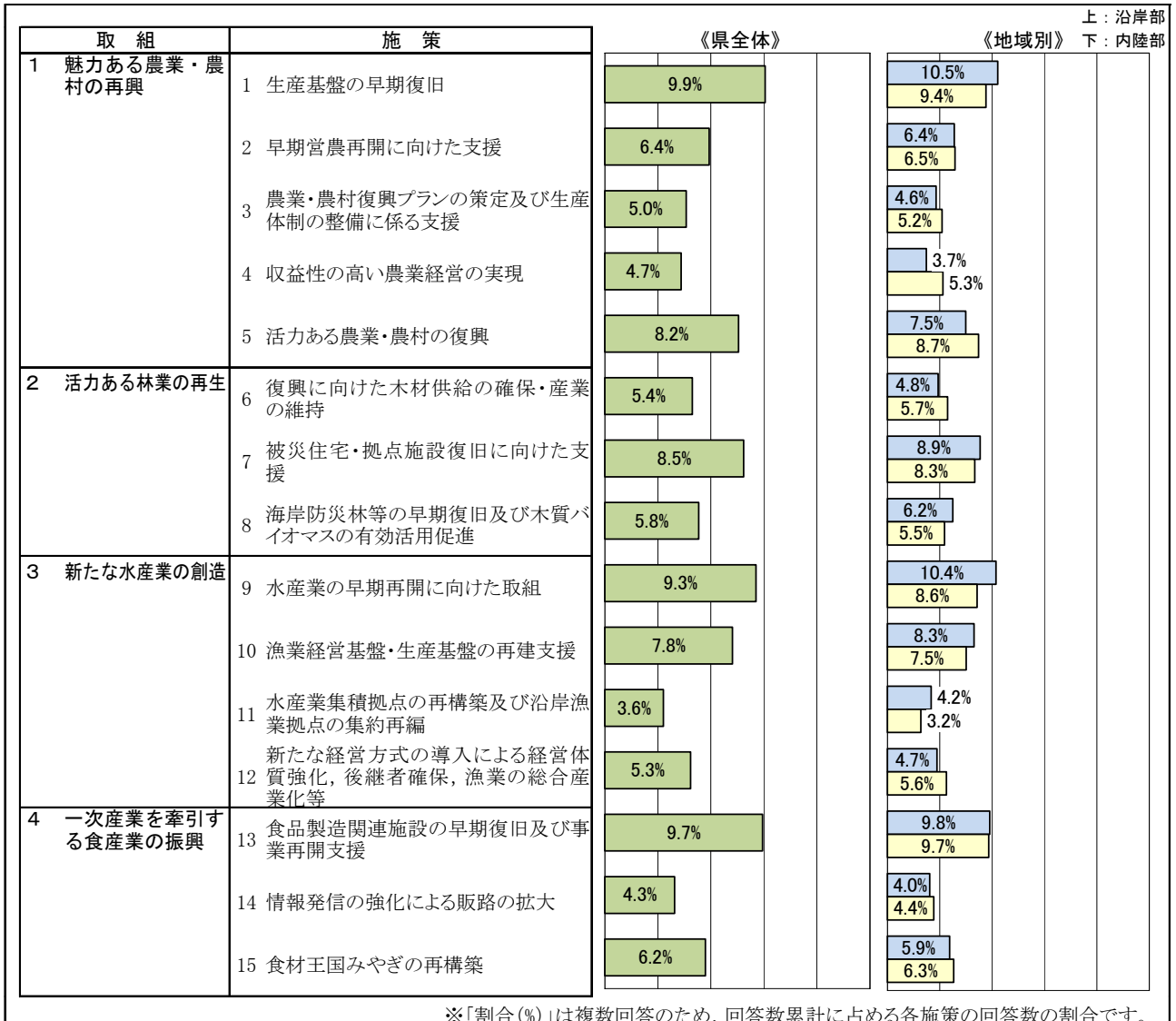


表 9 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	35.5%	36.8%	34.0%	33.5%	41.4%	34.4%	36.3%	35.9%	34.2%	33.1%	40.0%	35.8%	38.5%	30.7%
取組2	32.0%	33.0%	30.9%	29.3%	39.7%	29.0%	34.0%	35.1%	28.6%	30.8%	37.3%	31.8%	31.2%	28.7%
取組3	41.0%	43.1%	38.7%	37.9%	50.5%	38.2%	42.8%	44.6%	35.3%	39.3%	44.3%	42.8%	42.6%	37.4%
取組4	40.0%	39.4%	40.2%	38.0%	45.6%	39.3%	40.3%	39.2%	39.1%	35.7%	44.5%	42.1%	40.2%	38.2%

図 13 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。

(5) 分野5 公共土木施設

取組	施策
1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	1 高規格幹線道路等の整備 2 国道、県道の整備及び市町村道整備の支援 3 橋梁等の耐震化・長寿命化対策 4 仙台塩釜港（仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区）及び地方港湾の整備 5 仙台空港の復興
2 海岸、河川などの県土保全	6 海岸の整備 7 河川の整備 8 土砂災害対策の推進
3 上下水道などのライフラインの復旧	9 下水道の整備 10 上水道、工業用水道の整備
4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	11 まちづくりと多様な施策との連携

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3（87.1%）」で、次いで「取組1（85.0%）」、「取組4（83.5%）」、「取組2（82.9%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組3」が最も高くなっているのに対し、沿岸部、石巻圏域、気仙沼・本吉圏域では「取組4」が最も高くなっています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3（50.7%）」で、次いで「取組1（49.1%）」、「取組2（37.0%）」、「取組4（32.7%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組3」が最も高くなっているのに対し、仙台圏域、大崎圏域、栗原圏域では「取組1」が最も高くなっています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策2（15.0%）」で、次いで「施策6（13.3%）」、「施策9（10.8%）」の順となっています。
- 「特に優先すべきと思う施策」の割合について、地域別に県全体との差異を見てみると、県全体では「施策2」が最も高くなっているのに対し、沿岸部では「施策6」が最も高くなっています。

図 14 重視度割合（県全体）

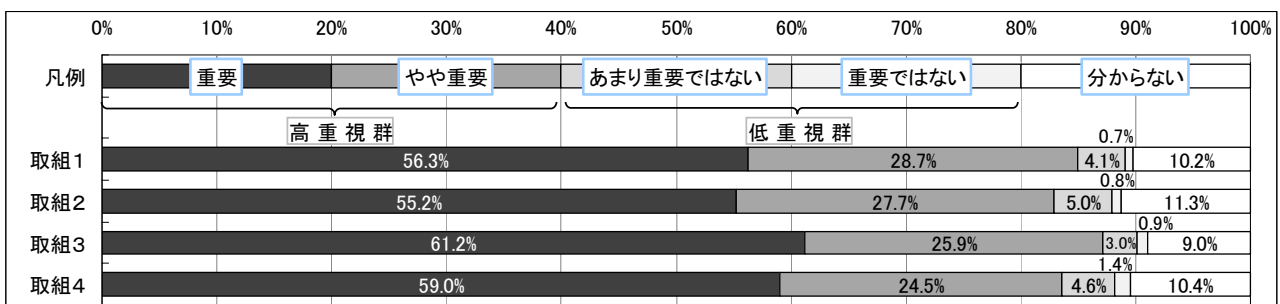


表 10 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	85.0%	87.2%	82.8%	85.6%	83.1%	86.8%	83.9%	89.7%	87.9%	79.8%	81.4%	83.8%	82.7%	90.3%
取組2	82.9%	85.3%	80.5%	83.9%	80.0%	84.7%	81.7%	85.4%	83.7%	82.3%	78.5%	79.6%	88.5%	83.1%
取組3	87.1%	88.5%	85.8%	88.0%	84.3%	88.5%	86.3%	90.1%	92.3%	82.4%	85.9%	86.2%	88.8%	84.2%
取組4	83.5%	83.4%	83.6%	83.4%	84.0%	89.2%	79.5%	81.5%	87.5%	74.8%	80.5%	80.1%	88.9%	91.7%

図 15 満足度割合 (県全体)

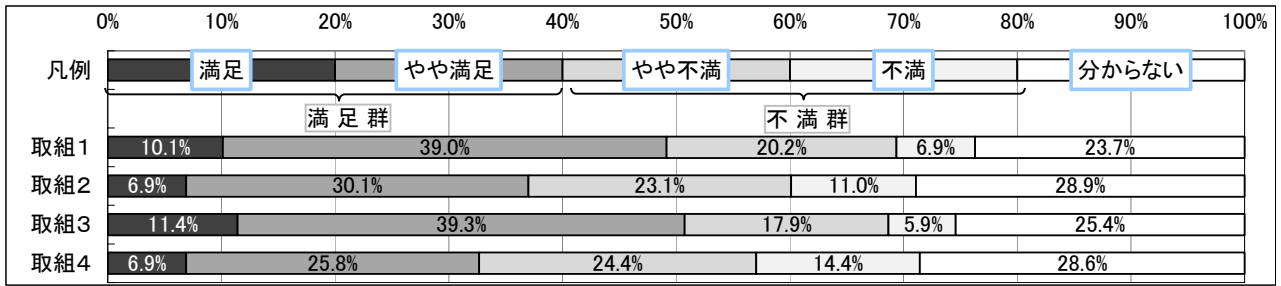
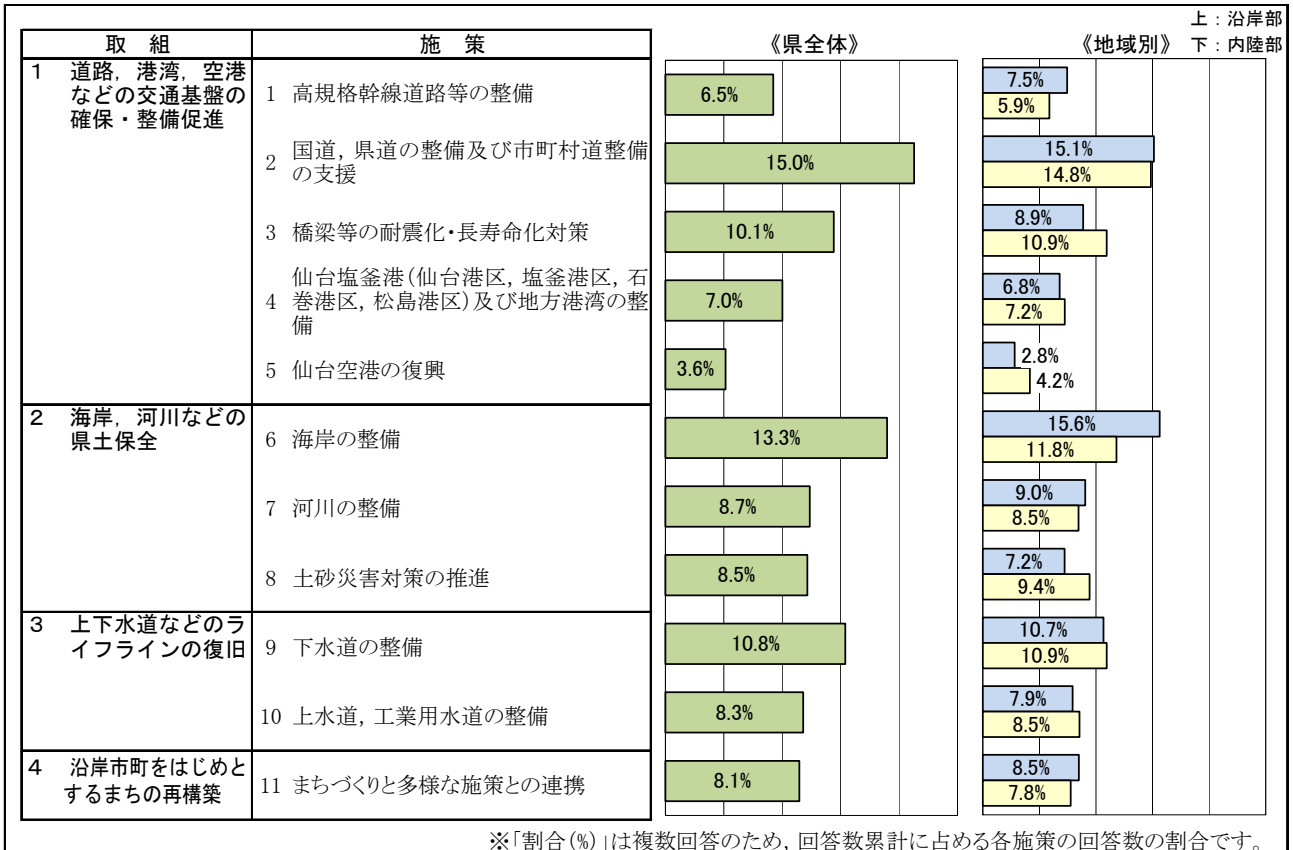


表 11 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	49.1%	49.9%	48.3%	48.5%	51.0%	47.2%	50.3%	50.2%	53.5%	46.0%	56.4%	47.8%	51.2%	37.2%
取組2	37.0%	39.4%	34.5%	35.5%	41.6%	31.8%	40.6%	40.6%	35.2%	39.3%	45.1%	37.5%	36.8%	23.5%
取組3	50.7%	51.8%	49.5%	48.9%	56.2%	49.9%	51.2%	60.6%	52.2%	44.1%	52.0%	49.1%	58.5%	38.1%
取組4	32.7%	33.4%	31.8%	29.5%	42.3%	28.9%	35.3%	33.2%	33.1%	34.0%	41.1%	30.6%	30.2%	25.7%

図 16 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)





(6) 分野6 教育

取組	施策
1 安全・安心な学校教育の確保	1 学校施設の復旧・再建 2 被災児童生徒等の就学支援 3 児童生徒等の心のケア 4 防災教育の充実 5 「志教育」の推進
2 家庭・地域の教育力の再構築	6 地域全体で子どもを育てる体制の整備 7 地域と連携した学校安全の確保
3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	8 社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習活動の推進 9 被災文化財の修理・修復と地域文化の振興

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1（84.3%）」で、次いで「取組2（77.2%）」、「取組3（57.8%）」の順となっています。

○属性別で、「高重視群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組1」となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組1（44.2%）」で、次いで「取組2（40.7%）」、「取組3（34.5%）」の順となっています。

○属性別で、「満足群割合」が最も高かったのは、いずれの属性でも県全体と同様に「取組1」となっています。

【特に優先すべきと思う施策】

○県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策1（19.4%）」で、次いで「施策7（13.4%）」、「施策3（12.6%）」の順となっています。

○地域別で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、沿岸部、内陸部とも県全体と同様に「施策1」となっています。

図 17 重視度割合（県全体）

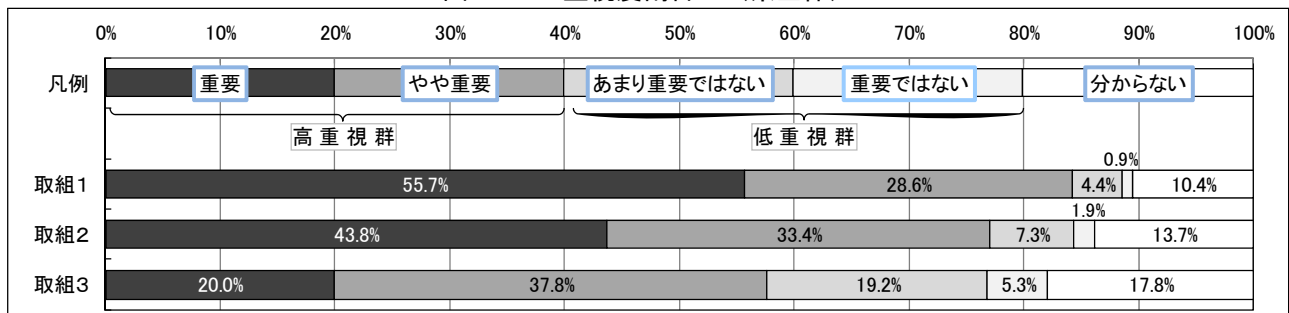


表 12 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	84.3%	83.7%	84.8%	84.8%	83.0%	82.9%	85.1%	88.8%	85.6%	81.3%	85.5%	85.0%	82.2%	81.3%
取組2	77.2%	74.4%	79.8%	76.0%	80.8%	77.3%	77.0%	76.1%	76.0%	72.4%	81.9%	76.9%	78.7%	77.3%
取組3	57.8%	55.8%	59.5%	55.1%	65.5%	56.1%	58.8%	54.9%	55.9%	60.7%	60.7%	58.4%	59.0%	53.8%



図 18 満足度割合 (県全体)

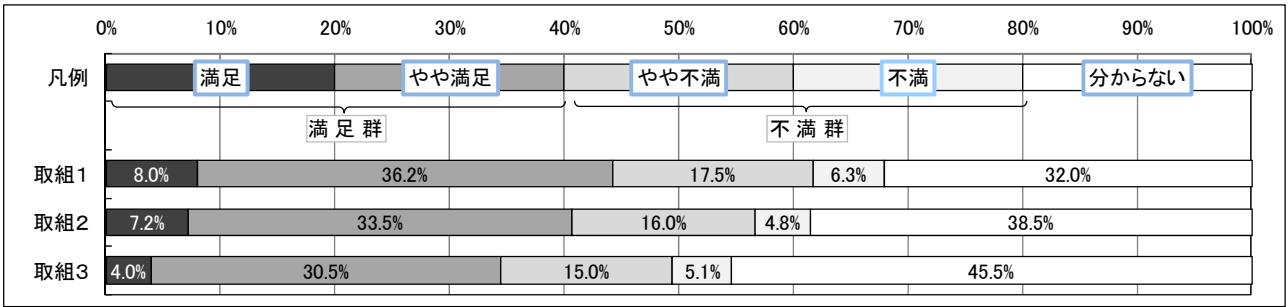
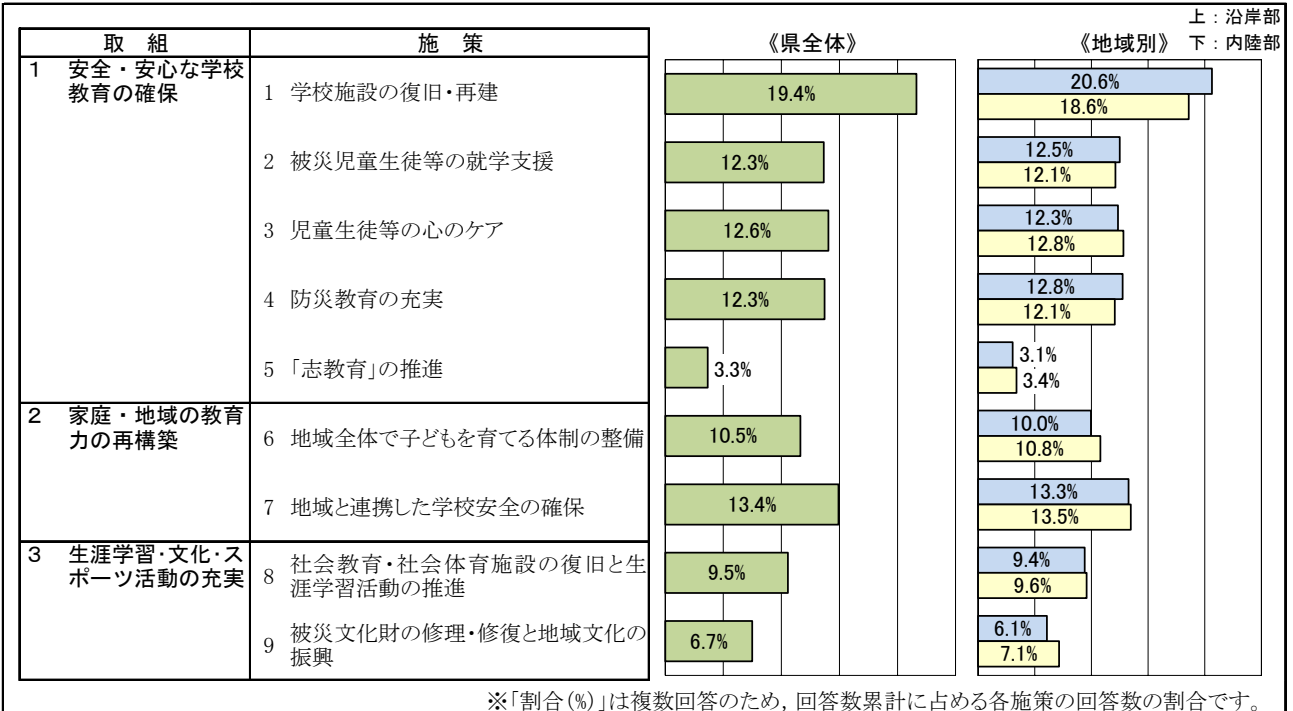


表 13 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	44.2%	42.2%	46.3%	41.7%	51.8%	40.1%	47.0%	47.5%	39.3%	42.8%	51.6%	45.8%	40.6%	41.7%
取組2	40.7%	36.8%	44.3%	37.7%	49.7%	38.1%	42.4%	41.1%	35.9%	39.9%	45.8%	43.2%	38.0%	40.5%
取組3	34.5%	31.8%	36.9%	32.5%	40.2%	30.6%	37.0%	34.3%	35.3%	37.8%	40.2%	35.3%	28.8%	28.3%

図 19 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



(7) 分野7 防災・安全・安心

取組	施策
1 防災機能の再構築	1 被災市町村における行政機能の回復 2 防災体制の再整備等 3 原子力防災体制等の再構築 4 災害時の医療体制の確保 5 教育施設における地域防災拠点機能の強化
2 大津波等への備え	6 津波避難施設の整備等 7 震災記録の作成と防災意識の醸成
3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	8 地域防災リーダーの養成等 9 木造住宅等の震災対策
4 安全・安心な地域社会の構築	10 警察施設等の早期機能回復及び機能強化 11 交通安全施設等の早期機能回復及び機能強化 12 防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1（86.7%）」で、次いで「取組2（84.1%）」、「取組4（76.6%）」、「取組3（76.5%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組1」が最も高くなっているのに対し、石巻圏域では「取組2」が最も高くなっています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（41.2%）」で、次いで「取組1（40.1%）」、「取組4（39.8%）」、「取組3（37.2%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、属性別に県全体との差異を見てみると、県全体では「取組2」が最も高くなっているのに対し、男性、65歳未満、仙南圏域、登米圏域では「取組1」が、65歳以上、大崎圏域、気仙沼・本吉圏域では「取組4」が最も高くなっています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策6（14.4%）」で、次いで「施策4（12.5%）」、「施策12（12.4%）」の順となっています。
- 地域別で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、沿岸部、内陸部とも県全体と同様に「施策6」となっています。

図 20 重視度割合（県全体）

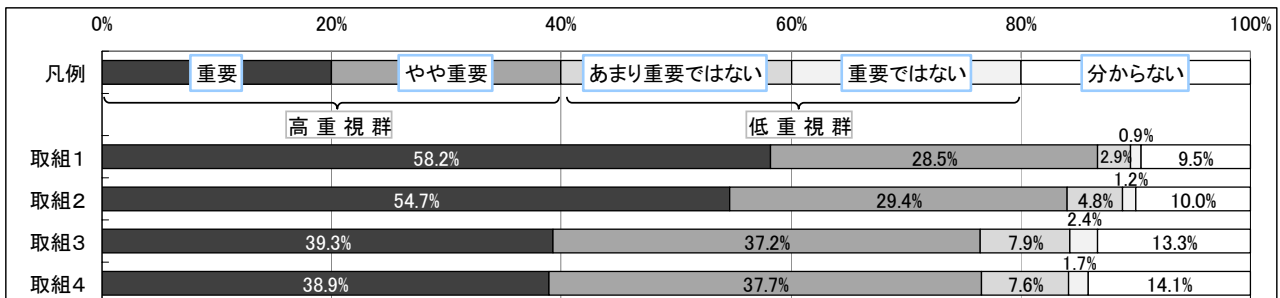


表 14 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	86.7%	87.0%	86.5%	86.8%	86.7%	87.3%	86.3%	88.2%	87.1%	84.6%	85.4%	86.4%	88.0%	87.2%
取組2	84.1%	84.1%	84.0%	84.1%	83.9%	85.4%	83.0%	82.9%	86.1%	80.8%	84.3%	83.3%	88.6%	81.9%
取組3	76.5%	74.7%	78.0%	75.4%	79.7%	74.9%	77.4%	75.7%	75.1%	73.7%	79.4%	79.9%	76.7%	74.2%
取組4	76.6%	76.3%	76.7%	75.8%	78.9%	76.8%	76.5%	77.7%	76.0%	73.2%	76.3%	77.2%	77.5%	78.7%

図 2 1 満足度割合 (県全体)

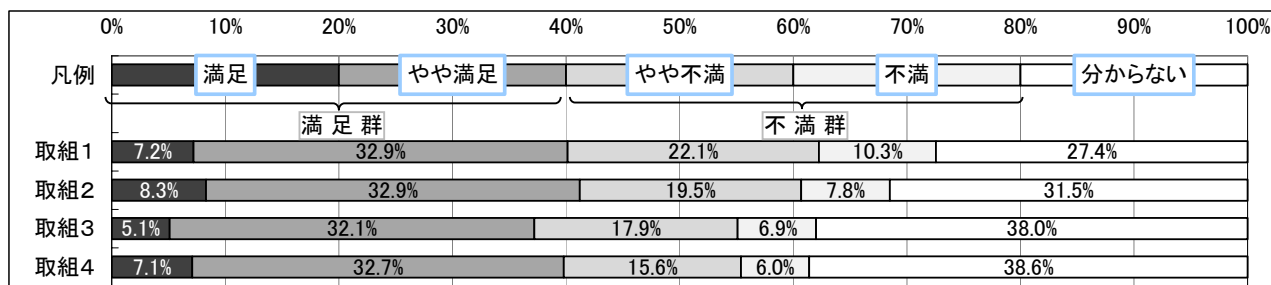
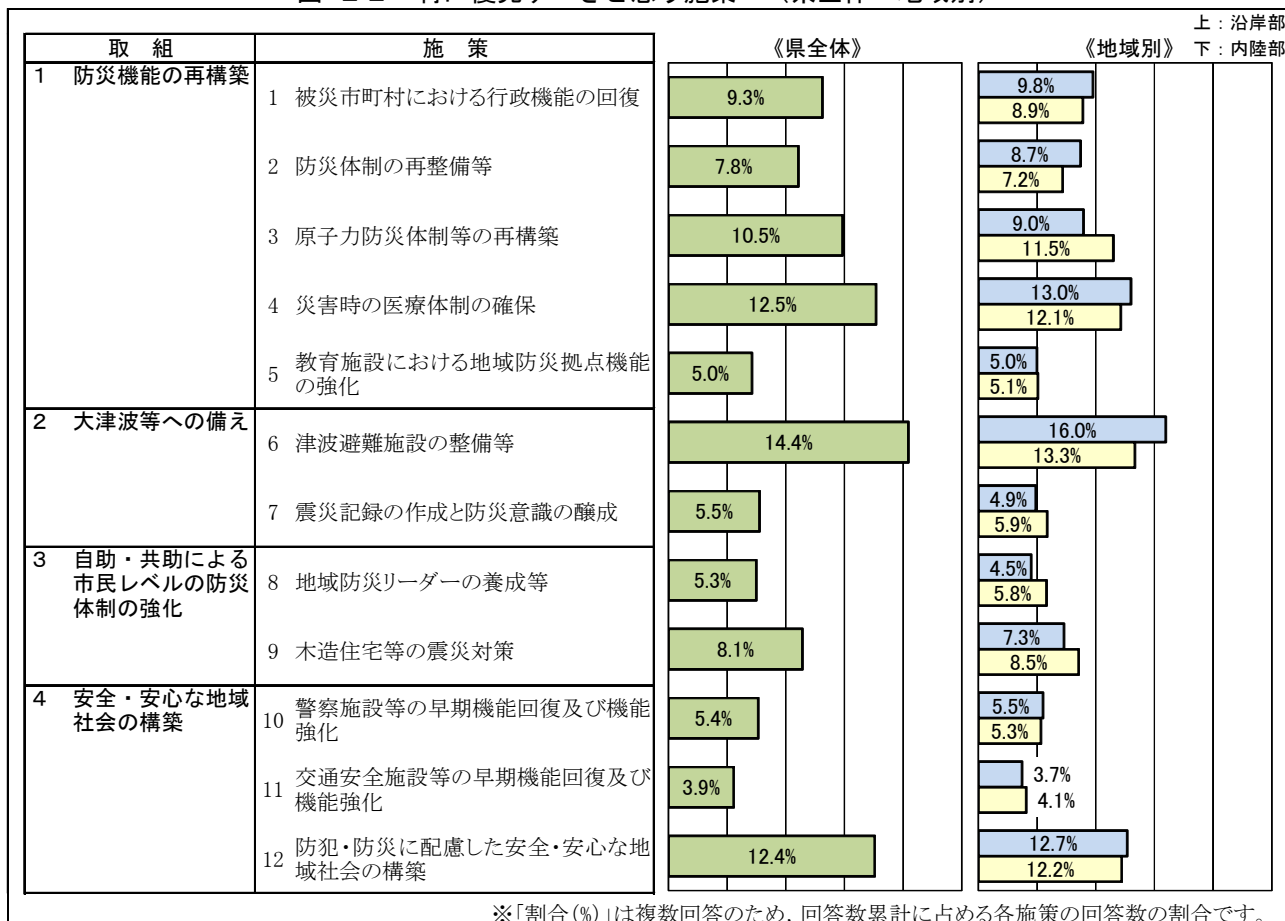


表 1 5 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	40.1%	40.5%	39.5%	38.7%	44.6%	38.5%	41.2%	40.0%	37.2%	37.6%	42.9%	44.6%	39.8%	38.5%
取組2	41.2%	40.4%	41.9%	38.4%	49.6%	39.5%	42.2%	39.5%	42.5%	38.7%	45.2%	44.2%	41.9%	35.1%
取組3	37.2%	36.8%	37.4%	34.3%	45.8%	34.9%	38.6%	30.9%	37.5%	37.7%	41.4%	43.4%	34.6%	33.3%
取組4	39.8%	39.1%	40.2%	36.4%	50.2%	39.0%	40.3%	34.9%	37.7%	40.4%	42.6%	41.5%	41.1%	40.2%

図 2 2 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。

### 3 宮城の将来ビジョンにおける3つの政策推進の基本方向について

宮城の将来ビジョンで定めている政策推進の3つの基本方向ごとに、認知度及びさらに力を入れる必要があると考える取組について調査したところ、次のような結果となりました。

#### (1) 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

##### 調査結果の概要

##### 【認知度】

○県全体で、富県宮城の実現～県内10兆円への挑戦～について、「内容について知っている」又は「言葉は聞いたことがある」と回答している割合は、39.8%となっています。

##### 【さらに力を入れる必要があると考える取組】

○県全体で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、「取組1（17.1%）」で、次いで「取組3（13.1%）」、「取組12（12.5%）」の順となっています。

○地域別で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、沿岸部、内陸部とも県全体と同様に「取組1」となっています。

図 23 認知度割合（県全体）

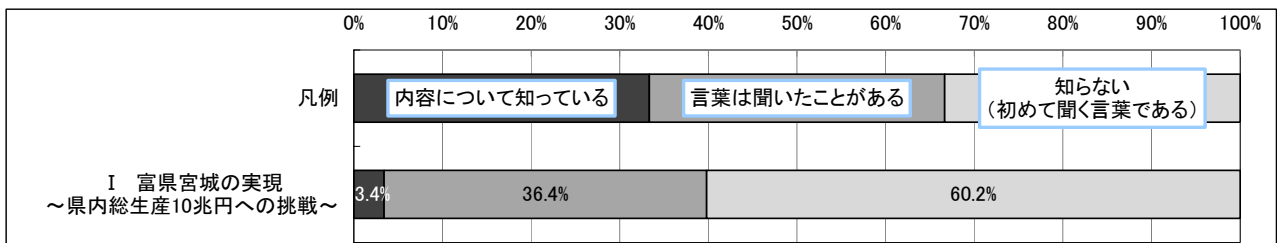
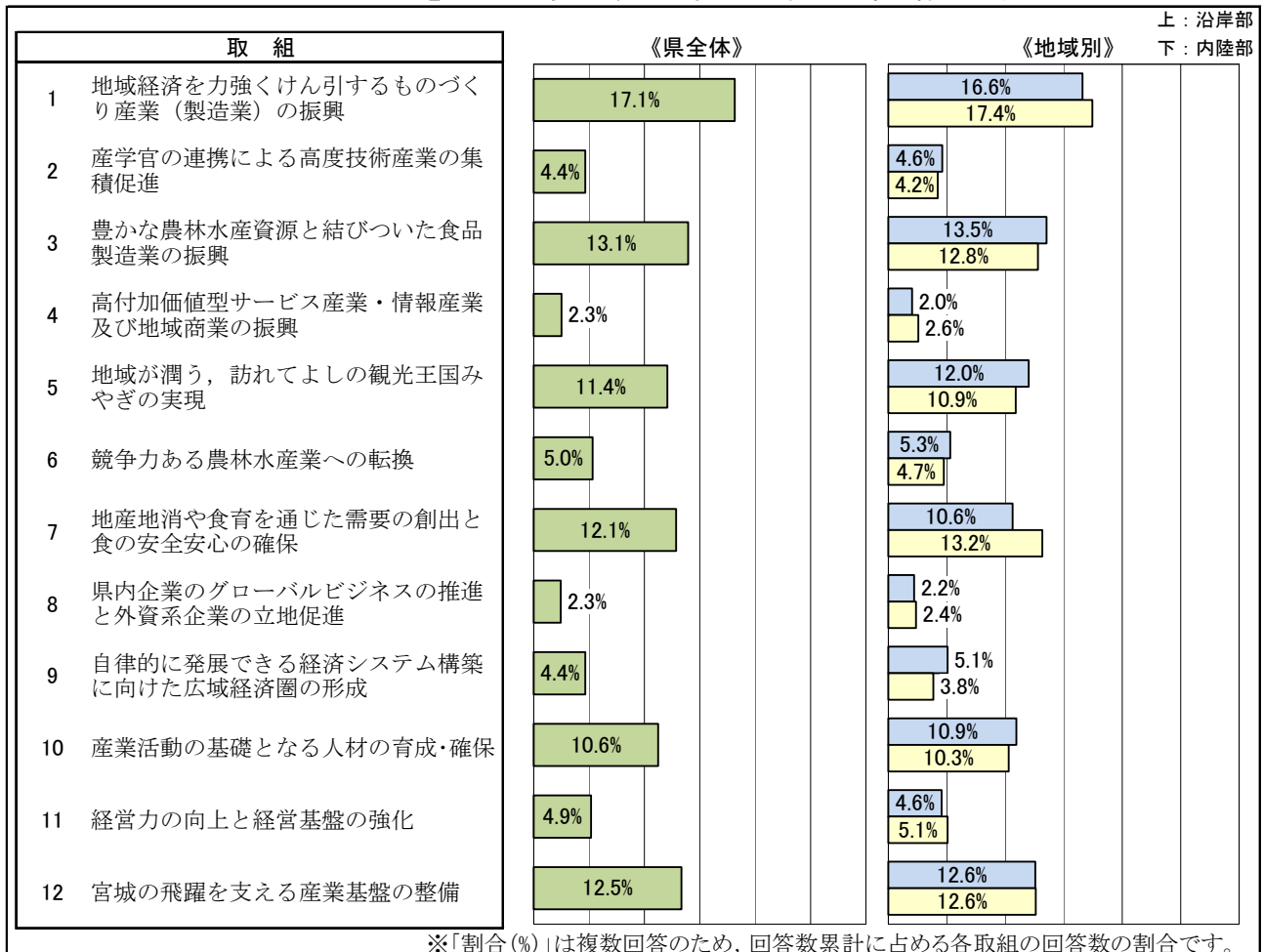


図 24 さらに力を入れる必要があると考える取組（県全体・地域別）



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各取組の回答数の割合です。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

調査結果の概要

【認知度】

○県全体で、安心と活力に満ちた地域社会づくりについて、「内容について知っている」又は「言葉は聞いたことがある」と回答している割合は、47.9%となっています。

【さらに力を入れる必要があると考える取組】

○県全体で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、「取組1（21.9%）」で、次いで「取組7（14.7%）」、「取組13（11.5%）」の順となっています。

○地域別で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、沿岸部、内陸部とも県全体と同様に「取組1」となっています。

図 25 認知度割合 (県全体)

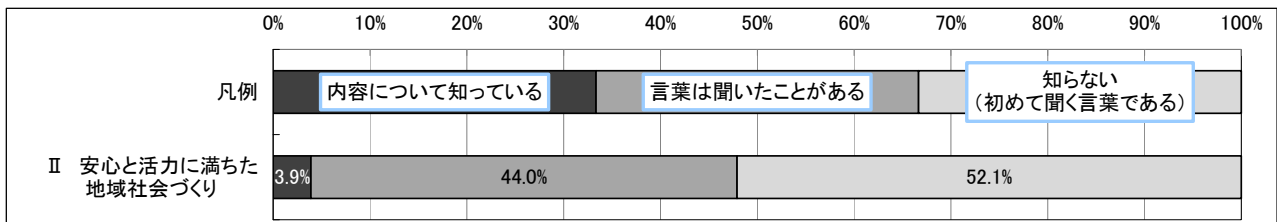
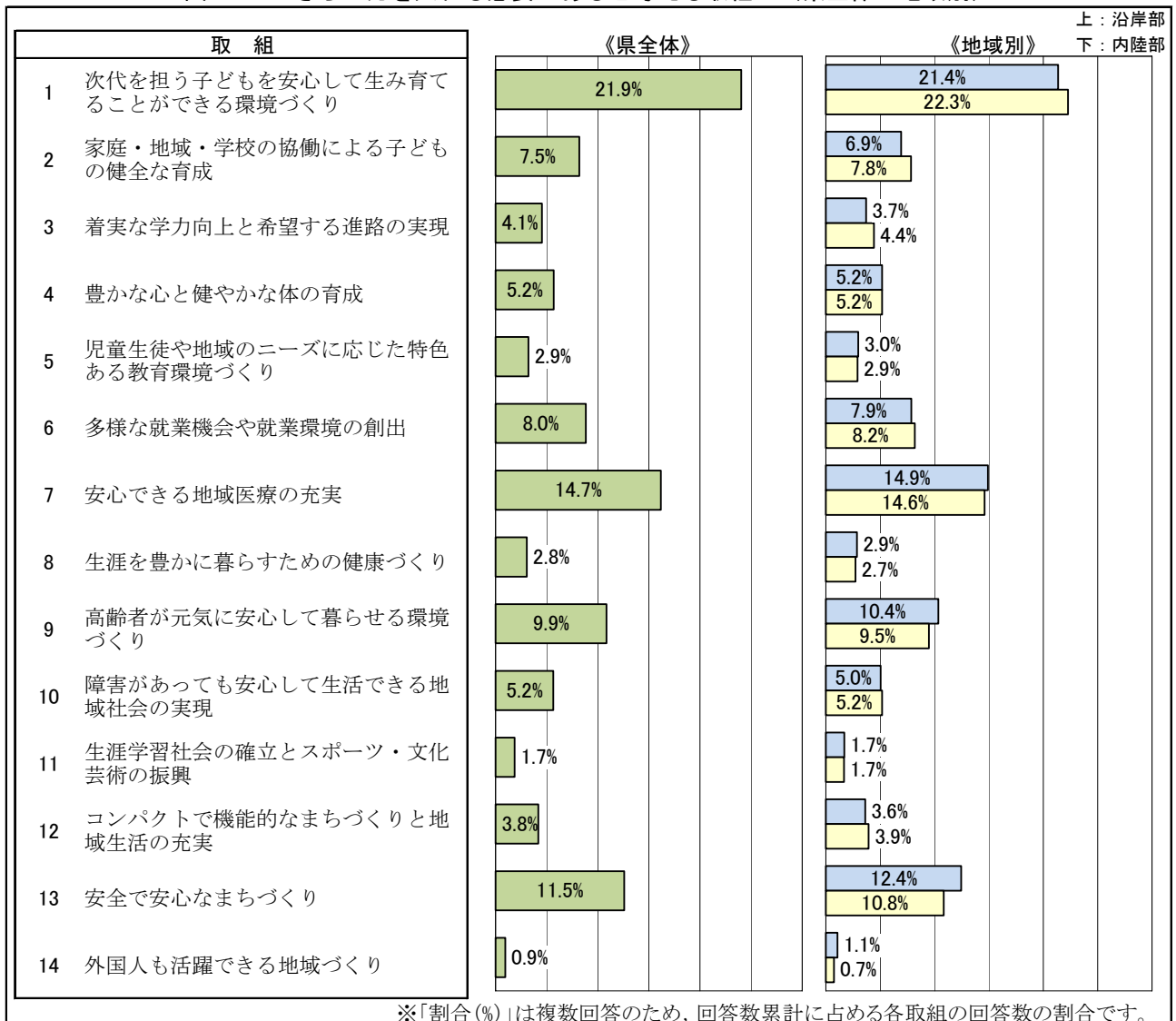


図 26 さらに力を入れる必要があると考える取組 (県全体・地域別)



※「割合 (%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各取組の回答数の割合です。

(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

調査結果の概要

【認知度】

○県全体で、人と自然が調和した美しく安全な県土づくりについて、「内容について知っている」又は「言葉は聞いたことがある」と回答している割合は、39.1%となっています。

【さらに力を入れる必要があると考える取組】

- 県全体で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、「取組3（18.6%）」で、次いで「取組5（17.5%）」、「取組6（16.7%）」の順となっています。
- 地域別で、「さらに力を入れる必要があると考える取組」の割合が最も高かったのは、沿岸部では「取組5（19.8%）」、内陸部では「取組3（19.2%）」となっています。

図 27 認知度割合（県全体）

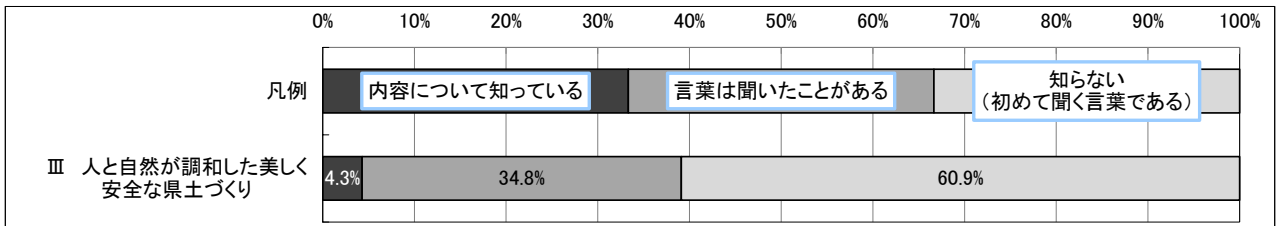
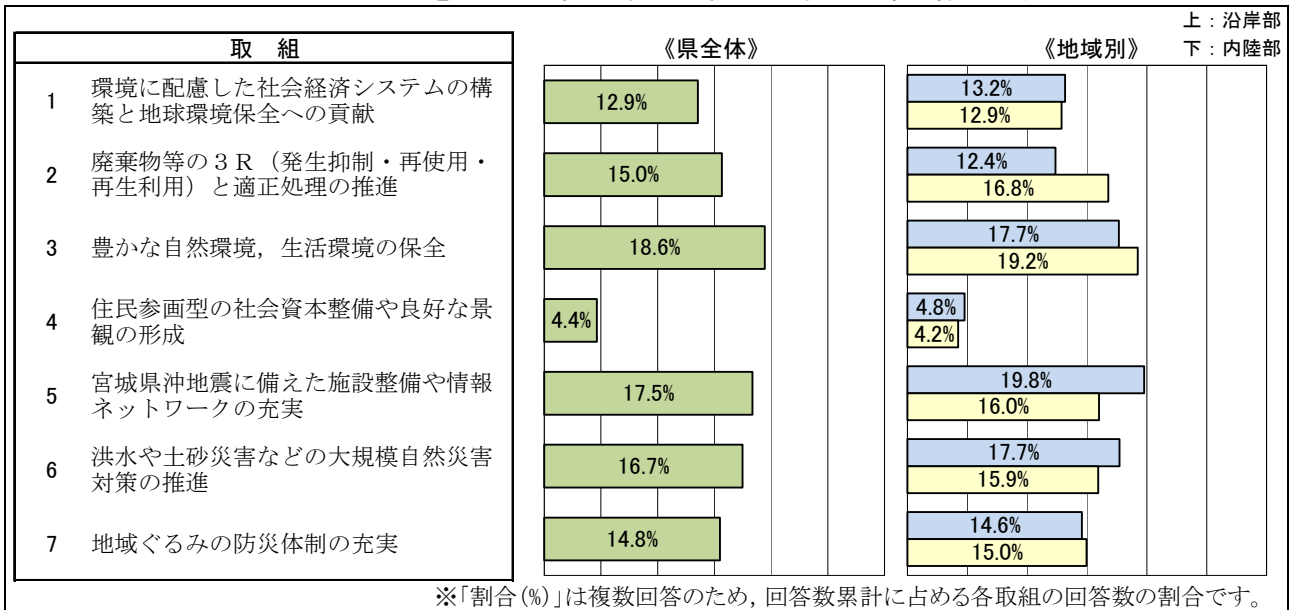


図 28 さらに力を入れる必要があると考える取組（県全体・地域別）



### III 参考資料

#### 1 回答者属性一覧

区 分		実数(人)	構成比(%)
回答者数(県全体)		2,030	100.0
性別	男性	994	49.2
	女性	1,028	50.8
年代	20歳代	178	8.8
	30歳代	268	13.3
	40歳代	324	16.0
	50歳代	430	21.3
	60～64歳	289	14.3
	65歳以上	531	26.3
居住地(地域)	沿岸部	826	40.9
	内陸部	1,192	59.1
居住地(圏域)	仙南圏域	272	13.5
	仙台圏域	296	14.7
	大崎圏域	284	14.1
	栗原圏域	311	15.4
	登米圏域	290	14.4
	石巻圏域	284	14.1
	気仙沼・本吉圏域	281	13.9
職業	自営業主・家族従業者	314	15.7
	被用者	905	45.3
	企業役員・団体代表等	28	1.4
	専業主婦(主夫)	264	13.2
	学生	35	1.8
	無職	380	19.0
	その他	70	3.5
業種別	農業	151	12.0
	林業	10	0.8
	水産漁業	39	3.1
	土木・建築業	117	9.3
	製造業	191	15.2
	電気・ガス・水道業	42	3.3
	情報・通信業	21	1.7
	運輸業	59	4.7
	卸・小売業	88	7.0
	金融・保険・不動産業	43	3.4
	飲食・宿泊・その他サービス業	167	13.3
	医療・福祉関連業	122	9.7
	教育・学習関連業	62	4.9
	その他	142	11.3

※各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計は一致しません。

## 2 宮城県の復旧・復興の進捗状況(「高実感群」,「低実感群」,「分からない」の概要)

宮城県の復旧・復興の進捗状況	
1	全般的な復旧・復興について
2	被災者の生活支援について
3	公共土木施設とライフラインの早期復旧について
4	被災市町村の行政機能の回復について
5	災害廃棄物の処理について
6	教育環境の確保について
7	保健・医療・福祉の確保について
8	雇用・生活資金の確保について
9	農林水産業の初期復興について
10	商工業の復興について
11	安全・安心な地域社会の再構築について
12	原子力災害等への対応について

高実感群		
県全体	沿岸部	内陸部
割合	割合	割合
25.0%	22.1%	27.1%
21.4%	21.8%	21.2%
31.1%	26.4%	34.3%
28.8%	27.5%	29.9%
26.7%	33.4%	22.0%
24.8%	20.8%	27.8%
29.5%	29.0%	30.1%
12.6%	14.9%	11.1%
22.6%	22.1%	22.9%
24.2%	22.3%	25.5%
18.0%	14.1%	20.9%
7.4%	6.4%	8.1%



低実感群		
県全体	沿岸部	内陸部
割合	割合	割合
66.5%	70.5%	63.8%
60.2%	60.4%	60.0%
56.4%	61.5%	52.9%
49.1%	53.3%	46.2%
61.0%	55.7%	64.7%
45.5%	48.8%	43.0%
47.7%	49.9%	45.9%
64.2%	61.8%	65.7%
56.9%	58.7%	55.7%
55.1%	58.5%	52.6%
62.5%	69.3%	57.8%
75.3%	70.8%	78.4%

分からない		
県全体	沿岸部	内陸部
割合	割合	割合
8.4%	7.4%	9.1%
18.4%	17.8%	18.9%
12.6%	12.0%	12.8%
22.0%	19.2%	24.0%
12.2%	11.0%	13.2%
29.7%	30.4%	29.1%
22.8%	21.2%	24.0%
23.2%	23.2%	23.2%
20.5%	19.2%	21.5%
20.8%	19.1%	22.0%
19.4%	16.7%	21.3%
17.3%	22.8%	13.5%

### 3 宮城県震災復興計画（各取組の「高重視群」，「満足群」，「不満群」の概要）

宮城県震災復興計画の体系に基づく24の取組
1-1 被災者の生活環境の確保
1-2 廃棄物の適正処理
1-3 持続可能な社会と環境保全の実現
2-1 安心できる地域医療の確保
2-2 未来を担う子どもたちへの支援
2-3 だれもが住みよい地域社会の構築
3-1 ものづくり産業の復興
3-2 商業・観光の再生
3-3 雇用の維持・確保
4-1 魅力ある農業・農村の再興
4-2 活力ある林業の再生
4-3 新たな水産業の創造
4-4 一次産業を牽引する食産業の振興
5-1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2 海岸、河川などの県土保全
5-3 上下水道などのライフラインの復旧
5-4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1 安全・安心な学校教育の確保
6-2 家庭・地域の教育力の再構築
6-3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1 防災機能の再構築
7-2 大津波等への備え
7-3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4 安全・安心な地域社会の構築

高重視群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
85.0%	5	85.5%	7	84.6%	7
86.7%	3	88.8%	2	85.1%	4
71.1%	21	67.7%	22	73.4%	21
84.7%	7	84.3%	10	84.8%	6
87.7%	1	88.1%	4	87.4%	1
80.3%	13	80.1%	14	80.2%	12
76.1%	20	74.5%	20	77.2%	18
69.3%	22	68.4%	21	69.7%	22
82.8%	12	83.6%	11	82.0%	10
78.5%	15	76.1%	18	80.0%	13
64.2%	23	62.1%	23	65.5%	23
79.5%	14	82.3%	13	77.3%	17
77.8%	16	76.5%	17	78.6%	15
85.0%	5	86.8%	6	83.9%	8
82.9%	11	84.7%	9	81.7%	11
87.1%	2	88.5%	3	86.3%	2
83.5%	10	89.2%	1	79.5%	14
84.3%	8	82.9%	12	85.1%	4
77.2%	17	77.3%	15	77.0%	19
57.8%	24	56.1%	24	58.8%	24
86.7%	3	87.3%	5	86.3%	2
84.1%	9	85.4%	8	83.0%	9
76.5%	19	74.9%	19	77.4%	16
76.6%	18	76.8%	16	76.5%	20

満足群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
45.0%	7	43.8%	7	45.7%	8
52.7%	1	53.8%	1	51.9%	1
41.0%	10	37.4%	15	43.4%	9
50.5%	4	50.8%	3	50.3%	4
51.5%	2	51.8%	2	51.4%	2
47.1%	6	44.7%	6	48.8%	6
34.8%	21	32.0%	20	36.7%	20
40.2%	13	37.0%	16	42.3%	12
35.2%	20	34.2%	19	35.4%	22
35.5%	19	34.4%	18	36.3%	21
32.0%	24	29.0%	23	34.0%	24
41.0%	10	38.2%	13	42.8%	10
40.0%	15	39.3%	10	40.3%	16
49.1%	5	47.2%	5	50.3%	4
37.0%	18	31.8%	21	40.6%	15
50.7%	3	49.9%	4	51.2%	3
32.7%	23	28.9%	24	35.3%	23
44.2%	8	40.1%	8	47.0%	7
40.7%	12	38.1%	14	42.4%	11
34.5%	22	30.6%	22	37.0%	19
40.1%	14	38.5%	12	41.2%	14
41.2%	9	39.5%	9	42.2%	13
37.2%	17	34.9%	17	38.6%	18
39.8%	16	39.0%	11	40.3%	16

不満群					
県全体		沿岸部		内陸部	
割合	順位	割合	順位	割合	順位
36.3%	3	39.8%	3	34.0%	2
30.3%	6	30.9%	6	29.9%	6
28.4%	8	27.5%	11	29.1%	8
24.2%	16	24.1%	18	24.2%	15
23.0%	19	22.3%	19	23.6%	16
20.8%	22	22.0%	20	19.8%	23
28.1%	9	28.9%	9	27.6%	10
24.4%	15	26.8%	14	22.7%	19
36.6%	2	37.1%	4	36.4%	1
29.9%	7	27.1%	12	31.9%	5
21.4%	21	20.2%	24	22.4%	20
26.9%	13	30.8%	7	24.4%	14
27.7%	10	27.1%	12	28.2%	9
27.1%	12	29.9%	8	25.4%	12
34.1%	4	40.8%	2	29.4%	7
23.8%	17	24.8%	17	23.3%	17
38.8%	1	46.1%	1	33.7%	3
23.8%	17	25.0%	15	22.9%	18
20.8%	22	21.8%	21	20.0%	22
20.1%	24	21.5%	22	19.1%	24
32.4%	5	33.0%	5	32.1%	4
27.3%	11	28.5%	10	26.3%	11
24.8%	14	25.0%	15	24.6%	13
21.6%	20	21.3%	23	21.8%	21



復興へ  
頑張ろう！  
みやぎ